



J A 広報

い・ま・か・ね

今金町農業協同組合

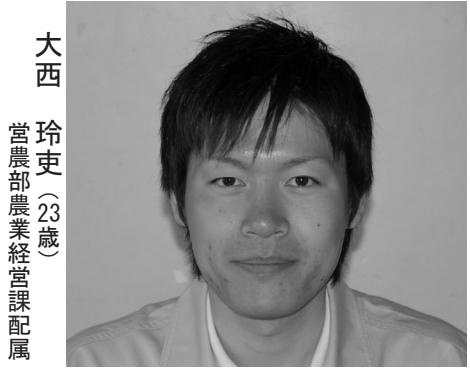
No. 424

平成22年6月



5月18日 町内で田植えがスタート

新入職員の紹介



石上 修一（19歳）
経済部店舗購買課配属

・出身地を教えてください。
大西 「沼田町です。」

・入組後、二ヶ月が経過しますが、仕事に対する印象・感触を教えてください。

大西 「入組以来早くも二ヶ月が経とうとしていますが、まだまだ手探りな状態であり、先輩職員と組合員の皆さんには迷惑をかけばかりです。しかし、皆さん優しく教えてくれるので、悩みながらも楽しく仕事に取り組むことが出来ています。」

石上 「『人と人の距離が近く、温かい町』という印象です。」

・今金町の印象を教えてください。

大西 「自然豊かで農業の盛んな町、よく風の吹く町だという印象をうけました。」

石上 「『人と人の距離が近く、温かい町』という印象です。」

・今金町農協に入組した経緯と、動機は？

大西 「今金町は、出身地からは大きく離れた地ではありますが、一面に広がる田んぼには懐かしさを覚えることが出来ましたし、牧草や畑の山とのコントラストは北海道らしい雄大さを感じることができました。その辺が今金町農協を志望する大きなきっかけとなりました。」

・趣味は何ですか？

大西 「体を動かすことです。」

石上 「農協学校で『ブランド』を

・学生時代、何か部活動はしていましたか。若しくは、うちこんでいたことは？

大西 「高校時代は陸上をしていました。」

・最後に自己PRと、組合員さんへ一言お願いします。

大西 「まだまだ組合員さんの顔も名前もそれほど覚えられないほどの新人ぶりですが、ひたむきに、そして持ち前の笑顔で頑張っていきたいと考えていますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。」

○當農部生産資材課（當農部販売課） 坂上 信彦

○當農部販売課（當農部農業経営課） 山内 拓弥

○當農部生産資材課（經濟部店舗購買課） 大西 玲吏

○當農部農業経営課 石上 修一

・出身地を教えてください。
大西 「沼田町です。」

・入組後、二ヶ月が経過しますが、仕事に対する印象・感触を教えてください。

大西 「入組以来早くも二ヶ月が経とうとしていますが、まだまだ手探りな状態であり、先輩職員と組合員の皆さんには迷惑をかけばかりです。しかし、皆さん優しく教えてくれるので、悩みながらも楽しく仕事に取り組むことが出来ています。」

石上 「『人と人の距離が近く、温かい町』という印象です。」

・今金町の印象を教えてください。

大西 「自然豊かで農業の盛んな町、よく風の吹く町だという印象をうけました。」

石上 「『人と人の距離が近く、温かい町』という印象です。」

・今金町農協に入組した経緯と、動機は？

大西 「今金町は、出身地からは大きく離れた地ではありますが、一面に広がる田んぼには懐かしさを覚えることが出来ましたし、牧草や畑の山とのコントラストは北海道らしい雄大さを感じることができました。その辺が今金町農協を志望する大きなきっかけとなりました。」

・趣味は何ですか？

大西 「体を動かすことです。」

・学生時代、何か部活動はしていましたか。若しくは、うちこんでいたことは？

大西 「高校時代は陸上をしていました。」

・最後に自己PRと、組合員さんへ一言お願いします。

大西 「まだまだ組合員さんの顔も名前もそれほど覚えられないほどの新人ぶりですが、ひたむきに、そして持ち前の笑顔で頑張っていきたいと考えていますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。」

○當農部生産資材課（當農部販売課） 坂上 信彦

○當農部販売課（當農部農業経営課） 山内 拓弥

○當農部生産資材課（經濟部店舗購買課） 大西 玲吏

○當農部農業経営課 石上 修一

今金町農協に平成22年度の新規採用職員として2名が入組しました。一問一答形式で2名の人となりを紹介させていただきます。

もつた、農協らしい農協」という紹介をいただき今金町農協に入組を決めました。」

石上 「とにかく温泉が大好きです。今後は釣りや山菜採りにも挑戦して趣味の幅を広げていきたいです。」

石上 「とにかく温泉が大好きです。今後は釣りや山菜採りにも挑戦して趣味の幅を広げていきたいです。」

・学生時代、何か部活動はしていましたか。若しくは、うちこんでいたことは？

大西 「高校時代は陸上をしていました。」

・最後に自己PRと、組合員さんへ一言お願いします。

大西 「まだまだ組合員さんの顔も名前もそれほど覚えられないほどの新人ぶりですが、ひたむきに、そして持ち前の笑顔で頑張っていきたいと考えていますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。」

○當農部生産資材課（當農部販売課） 坂上 信彦

○當農部販売課（當農部農業経営課） 山内 拓弥

○當農部生産資材課（經濟部店舗購買課） 大西 玲吏

○當農部農業経営課 石上 修一

人事異動のお知らせ

一生懸命頑張ります。エーコープに訪れた際は声をかけて頂ければ、とても嬉しいです。」

J A バンクは

食と農業の教育を

応援しています！

当JAの小田島親守専務理事が、4月26日に今金町小学校・美利河小学校、5月12日には種川小学校を訪問し、JAバンク食農教育応援事業の活動の一環として補助教材をそれぞれ校長先生・児童らに贈呈しました。

J A バンク食農教育応援事業は平成20年度から行われており、今年で3回目の補助教材贈呈となります。補助教材の冊子は「農業とわたしたちのくらし」というタイトルで、食農教育・環境教育・金融経済教育を基本テーマとしており小学校の授業において、補助教材として活用

されることを目的としています。補助教材の活用によって、人間が生活を維持するために必要な食農教育応援事業の活動の一環として補助教材を生み出す農業、環境と農業の関わり、さらに安定した食の供給のための流通や農産物価格の決め方などについて総合的に学習することで、農業に対する理解を多面的に広げてもらおうというのが狙いです。

この教材の活用等によって農業体験学習活動・地元食材を使つた学校給食の促進活動など教育活動の実践がさらに活発に行われることが期待されます。



美利河小学校では
全校生徒に手渡されました。



種川小学校では
5・6年生に贈呈。



今金町小学校では
代表として澤田校長先生へ。



田植えがスタート

5月18日町内で田植えが始まりました。

田植え開始のトップバッターとなつたのは八鈴地区の宮北誠市さん。全町的に例年より作業が遅れ気味ですが、当

日は天候に恵まれ作業は順調に進みました。

また、翌19日には今年で4年目となる水稻の直播栽培の播種作業が、鈴岡地区の吉本富夫さんとの圃場から始まりました。



次々と種が水田に播かれていきます

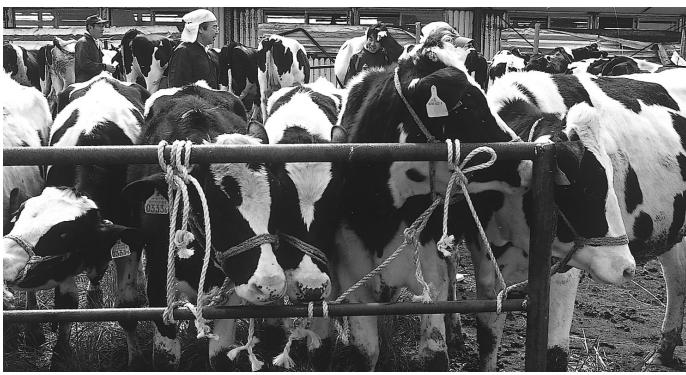


町内小学生がライスマーナルを見学

5月21日、町内の酪農家から放牧のため集められたホルスタインが日進牧場へ入牧しました。

当日は酪農畜産課ほか営農部職員が中心となって作業が行われ、普及所・役場・共済組合など関係機関の皆様にも応援を頂きました。

牛たちは、秋頃まで牧場に預けられ、大自然の中でのびのびと成長します。



5月18日、町内の小学生が社会科見学の一環として「函館育ちライスター・ミナル今金工場」に見学に訪れました。

当日は販売課の藤田倫史職員が、どうやってお米が育ち、ライスター・ミナルに持ち込まれるのか分かりやすく説明し施設内を回りました。児童達はメモをとったり、質問をしたりと熱心に説明に聞き入っていました。

大自然でのびのびと

みんなで実践！ 食育のはなし

価値観を押しつけない「食育」を

食育・料理研究家●坂本廣子

世間では徐々に「食育」が認知されてきました。その半面、子どもたちにとって食育が、新たに「良い子の条件」となっていることに一抹の不安を感じます。「きちんと何でも食べる、良い子になろう！」と言われたら確かにその通りですが、どう

も気持ちがすつきりしません。例えば、「甘いものは良くない食べ物」、「野菜は良い食べ物」と、自分たちの食育に対する価値観を子どもに押しつけていませんか？ 甘いものであろうと何であろうと、食べ過ぎが良くないだけの話で、「食べると・食べないと」を自分で判断する力をつける方が大切です。一度、胸が悪くなるほど、思いつ切り食べてみた方がいいかと私は思います。

また、「良い子は甘いものを食べません」と言われた子どもは、甘いものを食べるときに「自分は悪い子だ」と罪悪感を持つてしまっています。時には隠れて食べるような行動を取るかもしれません。おいしいものを「おいしいね！」と素直に食べられないことは、とても悲しいことだと思います。

科学的な見地からも食べ物に善悪

はありませんから、自分たちの価値観で食べ物の善悪を決めるのは避けましょう。食育を、価値観を押しつけるための道具、または自分たちの意見に従わせるための道具にしてはいけません。

むしろ、いろいろな食べ物に出会うことや楽しみ、食を体感することで、自分で生きていく力がつけばと思います。子どもたち一人ひとりを大切にした、体感型の食育が広がることを願っています。（16W×40L）



JA今金町 機構図及び部門別職員配置表

